



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

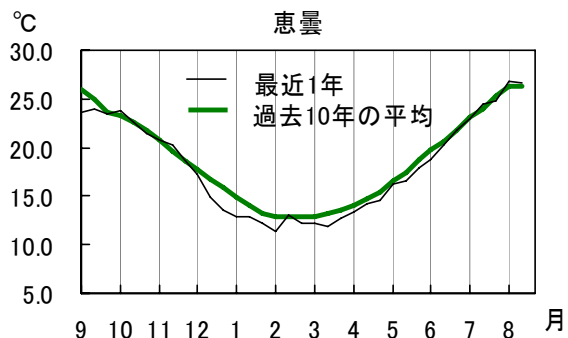
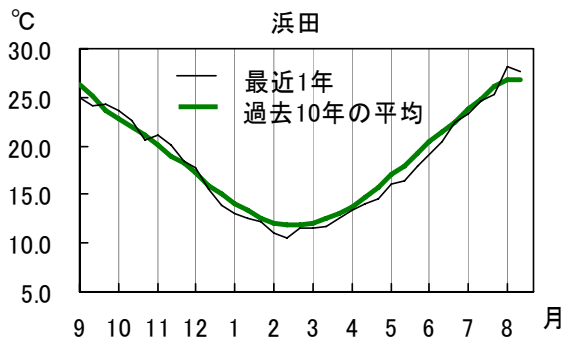
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

## 《7-8月の海況》

7月	月平均	平年差	評価
浜田	24.4℃	-0.5℃	やや低め
恵曇	24.1℃	0℃	平年並み

浜田では6月に引き続き7月もやや低めの水温が続きましたが、恵曇では平年並みの水温となりました。8月に入って水温は浜田ではやや高め、恵曇では平年並みに推移しています。



## 《7月の漁況》

## 【中型まき網漁業】

浜田では前月に引き続きマアジ中心の漁況で、漁獲量は平年の8割、漁獲金額は平年の1.1倍となりました。浦郷ではマアジ、イサキ中心の漁獲で、漁獲量は平年の3割程度でしたが、漁獲金額は平年並みでした。西郷ではマアジ中心の漁獲で、漁獲量は平年の3割、漁獲金額は平年の5割と低調に推移しました。

## 【イカ釣漁業】

前月と同様に低調に推移しました。浜田港(属地5トン以上)、西郷(属人5トン以上)ともにケンサキイカ中心の漁獲で、漁獲量は平年を大きく下回りました。

## 【シイラまき網漁業】

石見地区ではシイラ中心の漁獲で、漁獲量は平年の1.6倍、漁獲金額は平年の1.4倍と好調に推移しました。

## 【パイかご漁業】

石見・出雲地区のパイかご漁業はエッチュウパイの漁獲が好調で、漁獲量は平年を2割上回りました。しかし、エッチュウパイの魚価安のため金額では平年並となっています。

## 【定置網漁業】

石見地区ではマアジ・トビウオ類を中心に平年並の漁獲量となりました。出雲地区ではサワラ・マアジ・トビウオ類が主で漁獲量はほぼ平年並でした。隠岐地区ではブリ・マアジ・トビウオ類が漁獲の中心で、漁獲量は平年を1割下回りました。

## 【釣・縄】

石見地区ではアマダイ、イサキ、カサゴ・メバル類、ケンサキイカなどが漁獲され、平年の5割の漁獲量でした。出雲地区ではアマダイ、ケンサキイカ、マアジ、マダイ、イサキなどが漁獲され、ほぼ平年並の漁獲量でした。隠岐地区ではキダイ、カサゴ・メバル類、マダイを中心に平年の9割の漁獲量でした。

## 大型クラゲ(エチゼンクラゲ)情報

- ・8月下旬から、出雲・隠岐海域の定置網に数百個単位の入網が報告されるようになりました。石見部では大量入網の報告はまだありませんが注意が必要です。また、山口沖で操業している沖合底びき網には大量の入網があり、操業に支障が生じています。
- ・最新情報は下記ホームページで公開しています(携帯電話可) <http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

【平成 18 年 7 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ	400トン	132	76	8トン	101	90	○
	西郷	マアジ	942トン	54	35	12トン	70	52	▲
	浦郷	マアジ、イサキ	554トン	54	34	9トン	84	49	▲
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ、スルメイカ	31トン	45	30	36 kg	21	22	▲
	西郷	ケンサキイカ、スルメイカ	2トン	5	7	335 kg	238	284	◎
シイラまき網	和江	シイラ、ヒラマサ	154トン	163	138	1,821 kg	136	126	◎
バイかご	久手	エッチュウバイ	30トン	149	140	691kg	164	134	◎
定置網 (大型)	浜田	マアジ	28トン	42	55	1,272kg	88	146	◎
	美保関	ブリ・トビウオ類	133トン	102	121	1,400kg	96	122	○
	浦郷	マアジ・ブリ	25トン	81	123	979kg	63	96	○
釣り・縄	仁摩	イサキ、メダイ、ブリ	5トン	18	20	17kg	38	42	▲
	大社	サワラ、ブリ	11トン	129	125	16kg	94	113	○
	西郷	カサゴ・メバル類、キダイ、メダイ	11トン	65	61	26kg	78	80	▲

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下